

第9回 杉並区バリアフリー推進連絡会 議事要旨

会議名称	第9回 杉並区バリアフリー推進連絡会
日 時	平成30年1月16日（火）午後2時00分～3時30分
場 所	杉並区役所 中棟5階 第3・4委員会室
出席委員	<p>出席27名（代理出席含む）、欠席8名</p> <p>【関係団体等】大原委員、吉川委員、井上委員、内山委員、内藤委員、新井委員、石橋委員</p> <p>【鉄道】村上委員（代理）、志賀委員、木津委員（代理）</p> <p>【バス】野澤委員、向山委員、奥田委員（代理）、秋山委員（代理）、岡村委員、木部委員（代理）</p> <p>【警視庁】大橋委員、渡邊委員、川原田委員</p> <p>【東京都】山崎委員</p> <p>【杉並区】渡辺会長、吉野委員（代理）、岡部委員、松沢委員、山川委員、佐々木委員、和久井委員</p>
事務局	都市計画課（辻、中谷）
配付資料	<ul style="list-style-type: none"> <li>・次第</li> <li>・杉並区バリアフリー推進連絡会委員名簿（平成30年1月16日現在）</li> <li>・席次表</li> <li>・各事業者取組み内容（国土交通省資料含む）</li> <li>・特定事業計画変更箇所（抜粋）</li> </ul>
会議次第	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 開 会</li> <li>2 交代委員の紹介</li> <li>3 配付資料の確認</li> <li>4 各事業者のバリアフリーの取組み状況及び予定に関する報告</li> <li>5 意見交換</li> <li>6 事務連絡</li> <li>7 閉 会</li> </ol>

<p>会議概要</p>	<p>1 開 会</p> <p>○事務局  (都市施設担当係中谷が司会を務める。)</p> <p>2 交代委員の紹介</p> <p>○事務局  (今年異動等で交代された委員の紹介。)  当連絡会会長の杉並区都市整備部長渡辺より挨拶させていただき、その後の進行を引継がせていただきます。なお、会議の記録のため録音、撮影をするのでご了承をお願いします。</p> <p>○会長  みなさんこんにちは。どうぞ本年もよろしくお願いいたします。  今年は 2018 年ということで、2020 年東京オリンピック・パラリンピックまでカウントダウンということになるかと思えます。それぞれ各事業者の皆様方も取組みをなされているかと思えますが、バリアフリーに限らず、様々なことについて、顔が見られるこういう環境を利用していただいて、情報共有を密にいただき、是非この場をご活用いただければと存じます。本日はどうぞよろしくお願いいたします。</p> <p>3 配付資料の確認</p> <p>○会長  それでは第 9 回杉並区バリアフリー推進連絡会を始めさせていただきます。  まずは配付資料と特定事業計画に関する報告につきまして、事務局から説明をお願いします。</p> <p>○事務局  (配付資料の確認)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 第 9 回杉並区バリアフリー推進連絡会 次第</li> <li>・ 推進連絡会委員名簿</li> <li>・ 席次表</li> <li>・ 各事業者の取組み内容</li> </ul>
-------------	--

・特定事業計画変更箇所（抜粋）

（特定事業計画の内容変更について）

（２）道路特定事業区道経路⑧について、当初の路面改良から路面補修に変更

４各事業者のバリアフリーの取組み状況及び予定に関する報告

○会長

皆様のご協力によりまして、杉並区内のバリアフリー化が進んでいるところでございます。更にバリアフリー化を加速させる必要があるとあらためて感じているところでございます。

２０２０年のオリンピック・パラリンピックに向けて外国の方々など様々な人が来訪されることから、こういう方々にしっかり配慮するよう、区内全域のユニバーサルデザインのまちづくりにおいても、しっかり進めていく必要があると認識しているところでございます。

皆様の取組みについて、順次ご報告をお願いしたいと思います。その上で皆様のご意見等様々なものをお受けしたいと思います。

まず、区の方から不正利用対策や自転車対策について、報告します。

○区土木担当部長

委員吉野の代わりに市川よりご報告させていただきます。私からは

- ・自転車の撤去状況及び安全運転講習会について
- ・道路不正使用について

ご報告させていただきます。

（自転車の撤去状況及び安全運転講習会について）

- ・平成２８年度の方南町駅周辺の自転車撤去回数が１１１回  
自転車撤去台数が８３１台
- ・平成２９年４月～１２月においては、撤去回数が８２回  
撤去台数が５２３台
- ・平成２８年度の自転車安全運転講習会は講習会が６６回  
街頭キャンペーンが７４回

（道路不正使用について）

- ・平成２８年度は区全域で１５回うち、方南町駅周辺が１回
- ・平成２９年４月～１２月においては、区内の全域で１４回  
うち、方南町駅周辺が１回

以上、実施しております。

○会長

ありがとうございました。続きまして東京2020オリンピック・パラリンピックについて、調整担当課長より報告させていただきます。

○調整担当課長

わたくしからは東京2020オリンピック・パラリンピックへの取組みについて報告いたします。

区では東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に向けた懇談会において、こころのバリアフリーの実現を目指しています。

また、バリアフリーの推進やパラリンピックの理解・促進をテーマに、オリンピック・パラリンピック連携推進担当を中心に様々なイベントなども行っております。

○会長

ありがとうございました。区においても一層準備を加速させていきたいと存じます。次に鉄道事業者さんから順次ご報告をお願いいたします。

○JR 東日本

①区内における取組

本年度、高円寺駅及び阿佐ヶ谷駅の内方線付点状ブロック設置完了。

③オリンピック・パラリンピック東京大会に向けた取組み

大会会場周辺駅を中心に様々な駅で改札口やコンコースの拡張、バリアフリー設備の拡充等の駅改良に会社全体で取り組んでいる。

④その他

独自の「バリアフリー対応マニュアル」を活用して全社員の教育を進めている。他社と連携を取りながら、「声かけサポート運動」をより一層強化していく。

○京王電鉄

①区内における取組

新型車両の導入や車両のリニューアルに際して、京王線・京王井の頭線の車両に車いす・ベビーカースペースの増設を実施（新車・改修全車両）する。停車駅などをお知らせする液晶車内表示器の整備を順次実施する。久我山駅で都立久我山青光学園の登下校時に係員をホームに配置し見守りを行っている。

③オリンピック・パラリンピック東京大会に向けた取組み

新線新宿駅、渋谷駅や会場となる最寄り駅の飛田給駅のホームドアの設置。車内において英語の自動放送化を推進。案内サインの統一化工事を今年度中に実施する。バリアフリー課題の為に「新宿ターミナル協議会」参画する。

④その他

駅係員や運転士、車掌等の約98%がサービス介助士2級を所持し、さらに取得を推進している。盲導犬滞同者や白杖使用お客様へのご案内スキル向上の為に、公益財団法人日本盲導犬協会による講習を定期実施している。

○東京地下鉄

①区内における取組

方南町駅改修に際して、1ルートのエレベーター等設置及び多機能トイレの整備を実施した。(H29.12より使用)

②重点整備地区(方南町駅周辺地区)での取組み

①と同様

③オリンピック・パラリンピック東京大会に向けた取組み

方南町駅改修工事に合わせ、看板や券売機の多言語化対応化を行う。その他の駅に関しても順次多言語化を実施する。

④その他

銀座線転落事故における同種事故防止のために駅における「見守る目」の強化を行う。全駅社員にサービス介助士の取得を実施する。体が不自由なお客様等を見守る風土の醸成に努める。

○西武鉄道

①区内における取組

西武新宿線井荻駅及び上井草駅内の内方線付点状ブロックの整備が2017年10月に完了した。

昨年4月に連立事業が社会資本整備計画に位置付けられ、今後東京都、杉並区とともに事業化に向けて推進していく。

④その他

改札口への個人情報に配慮した筆談器の設置をする。ポスター、LED表示による「声かけ・サポート」運動強化キャンペーンの実施を行う。駅務係員への「盲導犬セミナー」を実施する。駅務係員のサービス介助士の資格取得やフォローアップ教育を定期実施する。

○都交通局(都営バス)

①区内における取組

渋66系統渋谷駅方向「杉並区役所」停留所のガードパイプを切開いての乗降口改善を行う。利用状況を勘案して、上屋、ベンチ及び接近表示装置を順次設置する。区内走行の渋66、王78、宿91系統のバス停への正着や丁寧な対応を行う。

②重点整備地区での取組み

渋66、宿91系統に関して、バス停への正着や丁寧な対応に努めている。

③オリンピック・パラリンピック東京大会に向けた取組み

平成28年度中視認性に優れた液晶式多言語対応の停留所表示装置への更新が全車両で完了した。全車両に基本的な会話ができる4言語（日・英・中・韓）記載のコミュニケーションボードを配備する。平成30年度までに、全停留所の路線図に英語を併記（一部4言語）するなど外国語案内の充実を目指す。

④その他

年1回のバリアフリー研修において、高齢者のベビーカーや車いす利用者に対する接遇を学び、バリアフリーへの意識啓発とサービスの向上に努めている。東京都福祉保健局と協力し、平成25年7月より、各営業所等でヘルプマークの配布を開始し、ポスターの掲示等で普及啓発に努めている。

○関東バス

①区内における取組

日産自動車前、北裏方向停留所でバス正着時に前扉、中扉が植栽開口部に合うようにバス停留所乗降口の整備を行った。井草八幡宮北裏方向停留所などにて老朽化に伴う上屋の建替を行った。

③オリンピック・パラリンピック東京大会に向けた取組み

バス車内に多言語対応デジタルサイネージを設置。（日・英・中・韓）区内営業所の車両232台中53両設置済み、順次増設中。

④その他

社内安全講習会を実施（乗務員向けに営業所にて実車を使用し車いすの固定など）している。事務員については、乗務員と同じ研修や外部の講習などに参加している。関東バスでは毎年2月を「優しい対応強化月間」としており、乗務員が胸にリボンを付け、1か月間更なる優しい対応を行うとともに管理職も月に4回、ターミナルに出て、立会いを行なっている。

○京王バス東

①区内における取組

西永福バス停等広告付き上屋の設置し、順次他のバス停にも利用者の多い順に検討を進めていく。バスロケーションシステムの更新を2017年度中に完了予定としている。

②重点整備地区での取組み

上記①の上屋設置とシステム更新を進めています。  
他社と共同使用しているバス停について、関係者と協議の上、上屋設置を検討している。

③オリンピック・パラリンピック東京大会に向けた取組み

2017年度中に車内前方停名表示器を多言語表示可能な液晶モニタータイプへ更新の予定。

④その他

車いすのお客様に対し、より安心して短時間で固定できるリトラクタ式ベルトへの更新を2015年より新車・既存者で順次実施している。「交通サポートマネージャー認定研修」の受講により、心のバリアフリーに対する教育に取り込んでいる（1年で100名程度）。

○西武バス

①区内における取組

西武バスの乗り合いバスにおいて、全車両で車いすの使用が可能となっている。

③オリンピック・パラリンピック東京大会に向けた取組み

車内停留所名表示機を日本語・英語（ローマ字）表記としている。

④その他

乗務員にDVDによる教育で、車いすの利用者に対する接遇の向上に努めている。行先表示機の全車LEDカラー化により、色で系統が解るようにしている。

○小田急バス

①区内における取組

1日2回の運行の宿44系統（新宿駅西口～武蔵境駅南口）にノンステップバス車両を使用している。

③オリンピック・パラリンピック東京大会に向けた取組み

フルカラー液晶化による運賃表示、バス停名の見やすさ向上。運行案内、業務案内のきめ細かい表示と4か国語での表示を行う。

④その他

移動困難なバス利用者の特性を理解するために、入社時の机上教育、配属先での実写教育、年4回の乗務講習会通じて障害の理解及び

コミュニケーションの基本を学び、意識改革に取り組んでいる。

○国際興業

①区内における取組

環七通りの高円寺駅～赤羽駅間についてノンステップバスの導入を促進している。

③オリンピック・パラリンピック東京大会に向けた取組み

訪日外国人対応のため、車内案内表示等の多言語化を推進している。

④その他

関東運輸局主催のバリアフリー教室への参加・協力をしている。車内事故防止のため、町会や自治会を対象としたバスの乗り方教室の開催等を行っている。

○会長

ありがとうございます。では区内の安全対策等について杉並警察署さんよりお願いいたします。

○杉並警察署

①区内における取組

道路管理者と協力のもと、違法に高輝度表示付近（点字ブロック）への看板、広告物等の設置業者に対し、指導警告を15回実施し直ちに是正させた。

②重点整備地区での取り組み

警視庁本部により、杉並区バリアフリーの交通安全特定事業計画に基づき、方南町駅周辺地区を整備中ではあるが、昨年度中での杉並署管内での整備は行われていない。

③オリンピック・パラリンピック東京大会に向けた取組み

オリンピック・パラリンピックに特化したことではないが、来日外国人向けの多様な言語のチラシによる交通安全に関する情報発信を現在も行っている。

○高井戸警察署

①区内における取組

弱者用信号機・高齢者用信号機（音響式、青延長）の定期的な点検整備を実施する。弱者用信号機10基（青信号延長5～7秒）について、現示秒数が延長する旨の蛍光テープを貼ることにより、利用者にわかりやすくした。



②重点整備地区での取組み

道路管理者と調整の上、交通弱者の立場に立った危険個所把のための道路交通環境総点検を定期的を実施。

○荻窪警察署

①区内における取組

昨年、桃井四丁目交差点に音響式信号機を設置し、12月より同信号機の全方向に対する音響式信号機の運用を開始した。西荻窪駅北側の交差点のエスコートゾーン設置に向けて、幾つかある問題（スクランブル交差点の新設等）を本部交通規制課、交通管制課と実査検討した、これらを解決後、エスコートゾーン設置する予定。

○会長

次に都道関係につきまして、第三建設事務所さんお願いいたします。

○都第三建設事務所

①区内における取組

路面補修工事に併せて、歩道改善（段差等）及び視覚障害者誘導ブロック設置を井ノ頭通りと早稲田通りで行った。

②重点整備地区での取組み

電線類地中化整備による歩道の有効幅員の確保をし、今年度は電線管理者と既存ストックの活用の協定を結び、試掘までいければと考えている。視覚障害者誘導ブロックの設置を行う。歩道の段差及び勾配の改善を行う。

③オリンピック・パラリンピック東京大会に向けた取組み

英語表記等の標識の整備を青梅街道、環八通りで行う。

○会長

では、私共の取組みとし、まず区の施設の建て替え等につきまして、営繕課長より報告いたします。

○区営繕課

①区内における取組

施設建設におけるバリアフリー化（段差解消、エレベーター、誰でもトイレ、点字ブロック設置など）を行う。

今年度竣工：馬橋複合施設、下高井戸こども園

今年度竣工予定：天沼三丁目複合施設

②重点整備地区での取り組み

段差解消スロープと手すり設置、車いすトイレなどの整備を行う。  
今年度改修予定＝和田小学校

○会長

次に、心のバリアフリーの取り組みといたしまして、区保険福祉部管理課長よりご報告いたします。

○区保健福祉部管理課

③オリンピック・パラリンピック東京大会に向けた取組み

区民向け「心のバリアフリー」に関するチラシに、オリンピック・パラリンピック東京大会に向け、心のバリアフリーの推進していくことを明記した。

④その他

バリアフリー協力店の登録と専用ステッカーを店頭貼付して周知している。

登録店舗数 : 1, 017店舗 (H29年11月現在)

啓発チラシ配布数: 約14, 000枚 (H29年2月、11月)

「心のバリアフリー」の言葉と定義についての区民向けの周知チラシ作成をする。

配布数 (すぎフェス) にて1, 000枚 (H29年11月)

○会長

今お聴きしまして、多言語化が急速に進んでおり、オリンピック・パラリンピックに向けて大事なことだと感じております。午前中の会議でも公園に外国人の方を案内した際、公園の中に日本語の表記しかないとお叱りを受けたところです。今後私共としましても、一所懸命進めなくてはいけない点かなと考えております。どうもありがとうございます。

5 意見交換

○会長

全体を通じまして、どこからでも結構でございます。ご意見ご要望なんでも結構でございますので、それぞれお手を挙げていただければと思います。いかがでしょうか

○井上委員

東京都第三建設事務所のお話より、中杉通りでの電線共同溝を整備しているとのこと。区長は狭あい道路において電柱を撤去すると言われているが、杉並区ではどうなっていますか。

○会長

小池都知事も力を入れている無電柱化は、災害時に効果があります。区としましても進めていきたいと思えます。先日、杉並区の無電柱化推進の方針をとりまとめ、今後、順次実行していこうという段階でございます。具体的には4つの路線を選定し、最も効果が得られる路線から順次行っていくこととしておりますが、無電柱化には、多額の経費がかかるとともに、事業者、沿線住民にご迷惑がかかる恐れがあるという課題がございます。

区としても、国等の動きに乗り遅れないよう、状況を見ていきたいと思えます。

○井上委員

防災等もあるので、なるべく邪魔になる電柱を早くやってほしい。また、駅のエスカレーターは上りだけでなく、下りも作ってほしい。荻窪駅なども、駅に入るところにつくってほしい。

○会長

上りは大変ということで、設置してきましたが、下りもご高齢者などは、けがなどを起こす危険もあり、下りの方が安全上必要だという説も伺っております、駅の構造など様々な要因がありますので、課題認識として共有させていただければと思えます。

○新井委員

京王バスと都バスについて、去年12月9日に東京メトロのエレベーターとエスカレーターができ、バス停の位置が以前と変わっている。中野区の特殊支援学級から質問がきて、バス停の位置は戻るのか戻らないのか伺う。

○東京メトロ

調査の上、後日事務局を通してご報告いたします。

○新井委員

高井戸警察署にお聞きしますが、方南町陸橋で行われている改修で、歩車の分離ということで分けていますが、弱者用信号機の青延長の設

置基準はあるのですか。できれば方南町にもつけて欲しいのですが。

○高井戸警察署

現場を見て、交通の流れを阻害しないなど可能ならば、上申して予算をとって設置していくことになっています。現在、押しボタン式は旧式で設置をしておらず、カメラで歩測等を自動的に感知し、遅い方の場合は、自動的に時間を延長するタイプを設置しております。

○新井委員

利用者はどこに言えばよいですか。

○高井戸警察署

高井戸署に言っていただければ、調査することになっています。

○新井委員

二年前ぐらいから、流れはいいのですが、方南町は高齢者の方が40%以上おり、昔のように斜め横断し途中で終わる人もいる。延長すると方南通りなどにもいろいろ影響がでるとは思いますが。

○高井戸警察署

具体的にご相談いただければ大丈夫です。

○吉川委員

鉄道事業者と関連の方に質問があります。壁掛け型や長便器等物肢体不自由児者が使いやすいタイプのトイレの設置をお願いしたいです。座位保持が困難な人に必要な、大人が横になれるユニバーサルベッドの設置は非常に少ないので設置をお願いしたいです。私たちは外出時に必要な多目的トイレの有無等を調べ、それらが無い場合は目的地を変更するしかない場合もあります。昨年夏にオープンした阿佐ヶ谷駅高架下ビーンズ阿佐ヶ谷や方南町駅でも多目的トイレはあるものの、ユニバーサルトイレの設置はありません。ユニバーサルトイレの設置予定はあるのでしょうか、また現在多目的トイレがない駅には、多目的トイレ設置の予定はあるのでしょうか。

○会長

鉄道事業者さん、何かございますか。お答えできる範囲で結構です。

○JR東日本

貴重なご意見ありがとうございます。鉄道事業者の共通の悩みと  
思いますが、駅利用者の誘導を確保しながらスペースを決めて、改良  
計画などを立て、より良くということを中心に心がけているところでござ  
います。多目的トイレについては、引き続き改良に向けて努力していく  
所存でございます。

○吉川委員

既存のトイレにユニバーサルベットを後付することは不可能ですか。  
京王電鉄の方に質問ですが、京王井の頭線は17駅中13駅に多目的  
トイレが設置されています。ユニバーサルベットの設置もあります。な  
ぜこのような、設置に至ったのか教えていただきたい。

○京王電鉄

以前から設置を行っており、理由が定かではないというところも  
ありますが、井の頭線各駅は、橋上駅舎化ということで改札を階段の  
上にあげて、そこにエレベーターの整備とか多機能トイレの整備とか  
を進めていった事があります。

井の頭線で多目的トイレがついていない駅というと、下北沢駅とい  
うことになりますが、現在、小田急電鉄さんの駅舎改良の中でスペ  
ース確保ができ、設置の方向となっています。バリアフリー化の中  
でもトイレには設置基準があります。初期に整備されたものは今の基  
準からすると、スペックが足りないところもございますので、新たに  
整備するときには、直近のスペックを見ながらそれを満たすよう、整  
備していく方針です。

○吉川委員

エレベーターについてですが、バリアフリー法では出入り口の幅が  
80cm以上あるいは90cm以上と決められています。80cm間口  
では車いすの乗り降りの際に体の一部があたってしまい、スムーズに  
できないこともあり、大変危険です。なるべく間口の広いエレベ  
ーターの設置をお願いしたいところです。道路の路面についてですが、  
車いすを利用していると道路の路面の凸凹が大変気になります。頸  
椎症の場合凸凹で、外出のたびに症状を悪化させてしまいます。特  
に住宅街や私道などの路面の凸凹やひびなどが目立つように思いま  
すが、路面の改修工事はお願いできるものですか。

○調整担当課長

道路パトロールなどを行い、傷んだところなどの小さな補修は数日間で治すようにいたしております。大規模なものは、数年の計画にして治しているところがございます。区道に関しましては、凸凹がございましたら区の土木事務所がございますので、ご一報をいただければ、すぐに係員が現地に行きまして、対応をいたしたいと思っております。

○都第三建設事務所

道路の歩道に凸凹や亀裂などがありましたら、私共の事務所の方に言っていただければ、小規模ならば数日間で補修はできます。全般的な補修は少し時間をいただいております。インターロッキング舗装などは最近、振動が少ないなど良い製品もありますので、そういったものを使用するようにしております。車道と歩道の2cmの段差については、視覚障害者には区別するのに必要なものだというお話も伺いますので、なかなかゼロにするのは難しいと思っております。

○会長

いずれにしても、お気づきの点がございましたら、すぐ対応いたしますので教えていただければと思っております。

○内藤委員

今年、大宮八幡宮に初詣に行ったのですが、高円寺駅から京王南北バスを利用させていただきました。初詣のお客さんが相当数いて、松ノ木あたりでは乗れない状況で、満席で乗車できない人は次のバスへとアナウンスされていまして。初詣の時期に便の増発はできないのでしょうか。また、運転手のアナウンス能力の向上の為、外国語の教育をされたらいいのではないかと思います。特に非常時にはアナウンスで伝えることが必要で、多言語化と併せて運転手さんの外国語の教育をお願いします。

○京王バス

大宮八幡からの乗り残しの発生について、把握しているのかどうか営業所の方に確認してみます。可能であれば対応させていただければと思っております。アナウンスの件は、よりお客様に寄り添って対応していきたいと思っております。高速バスでは指さし英会話帳なるものがございまして、YES・NOで書いてあって、指をさしてもらって、めくっていくとお客様に答えることができるようになっております。可能であれば都区内で検討出来ればと思っております。

○関東バス

高円寺と永福町間の路線は京王バスさんと共同運行しております。通常小型のバスを使っておりまして、台数も営業所で限られておりますので、予備車の問題が出てくると思いますが、正月は需要があるということですので京王さんと同じように共有していきたいと思えます。

○会長

他にいかがですか。

無ければ国土交通省の方は欠席でございますが、事務局の方がご意見を伺っておりますので、報告をさせていただきたいと思えます。

○事務局

国土交通省からは④その他の取組みといたしまして、バリアフリー教室を開催について関係資料をいただいております。今年度は12月末時点で26回実施し、小学生を中心に、高校生、大学生、教員、一般の方等が2,267人来訪されたとのことです。

○会長

ここで大原先生からこれまでを踏まえて、所見をいただきたいと思えます。

○大原先生

皆さんのいろいろな取り組みや工夫を聞くことができ、この会はお互いに刺激し合い、非常よい集まりだと思っております。特にバス事業者さんそれぞれが工夫されていることがよくわかりました。

ドイツなどでは、バス事業者さんの連合を地域ごとに作っていて、その地域単位で情報交換しながら、進めているといったことがあります。例えば乗り継いでいく途中で、車いす対応でないとそこで途切れてしまうため、連絡をうまくさせています。

数年前に連合で、乗り方安全教室のためのバスを1台調達しており、そこで皆さん学んでおります。地域連合でそういう取り組みをやることもいいのでは感じます。例えば当番を決めて回して行うなど、高密度な東京のような大都市では、いくつかの事業者が交錯していますので、このような取り組みも必要と思えます。

多言語化、特に情報提供という面では、お互いに連携して取り組むことが重要だと思えます。バスの場合、通常の乗り口は運転手さんの横からの場合が多いですが、車いすの人が乗る際は後ろか真ん中から

乗ることになります。停留所の案内板は前方の乗り口についているため、車いすの人からどこで待つかわからないことをよく聞きます。

事業者の中で取り決めをし、統一することでもっとわかりやすくなるのではと思います。物理的対応をただ作るだけではなくて、それを使用するためのガイドが、重要だと思います。他の国の人を含め、そういったものをわかりやすくすることが、ユニバーサルデザインとして求められていると思いました。

エリア分散型のトイレの機能を考えていくにあたっては、駅のトイレですべて対応することが困難であれば、周辺の駅ビルや商店街など、一つのエリアの中でいろいろな所有者や事業者もいる中で、一か所設けるといった計画的配慮が重要なのだと思います。

これまではバリアフリー法関連で一つ一つの建築物を建てる時の規制がありました。エリアとして計画することができていない状況です。商店街についても小さい商店が沢山あっても、大きなみんなのトイレはできないという仕組みです。それを地域全体で考える計画的システムを取り入れられる仕組みができればと思います。

皆さんで共有し、作っていく仕掛けづくりができると理想的だと思いますが、現実には難しいところです。ぜひ計画的視点を取り入れていければよいと思います。そういうことが言えるのも、杉並区ではこういう形での連絡会があるからです。こういった会がなければ、個々の整備をやってくださいというだけですが、こういう会議で話し合うことによって、地域やエリアで計画するという視点が出てくることは大変いいことです。何か形にする事の動きのきっかけにこの連絡会がなければいいと思います。ぜひ皆さんで知恵出しあって、実現に向けて動いていただければと思っています。

#### ○会長

先生ありがとうございます。ほかに特に言い忘れたということはございませんか。もし何かありましたら事務局の方にいつでも個別にご連絡いただければ対応させていただきます。よろしく願いいたします。それでは本日の連絡会はこれで終了させていただきます。最後に事務局の方から事務連絡をさせていただきます。

### 6 事務連絡

#### ○事務局

本日は誠にありがとうございました。議事要旨につきましては区ホームページ等掲載させていただきますのでご了承ください。また、



先ほど以外の質問等がございましたらこちらの方までお願いいたします。また、来年の連絡会につきましても2回開催の予定といたしまして、1回目の場所は未定となっておりますが、区内の現地視察をできればと考えております。2回目につきましては今回と同様の内容で1月頃の開催を考えておりますので、よろしく願いいたします。議事要旨としましては、まとめり次第(案)として送付させていただきます、確認していただいた上で修正し確定版をお送りさせていただきます。ホームページ等で公開ということになりますので、ご承知ください。事務局からは以上でございます。

#### 7 閉会

##### ○会長

それでは今回のバリアフリー推進連絡会は閉会とさせていただきます。本日はご多忙の中ありがとうございました。